



JR東労組首都圏協議会 結成総会

役員体制 (敬称略)

役職	氏名	地本
議長	鶴ノ澤 信一	千葉
副議長	古畑 隼人	長野
副議長	唐紙 将	大宮
事務長	梶田 優一	横浜
幹事	田谷 雅敏	東京
幹事	対馬 史幸	東京
幹事	黒田 弘樹	東京
幹事	鈴木 雄大	東京
幹事	野中 広俊	八王子
幹事	小宮山 直樹	八王子
幹事	肥後 直樹	水戸
幹事	矢口 昌広	大宮
幹事	砂塚 悠介	千葉
幹事	山本 純一	横浜
幹事	和田 勝也	長野
幹事	曲尾 優一郎	長野

10月13日、首都圏協議会準備委員会は東京地本会議室で結成総会を開催しました。

JR東労組の安全哲学確立のたまたかの歴史を学び、予防安全のたまたかをつくり出し、いくつ必要や、統括センター化に対する問題意識の一致をほかりました。協議会に結集する各地方の組合員の労働条件の維持・向上をめざし、業務課題を中心に地方本部間の連携を強化し、組織の強化・拡大を実現していきます。

首都圏協議会 結成!



JR東労組東北協議会「結成総会」

役職	氏名	地本
議長	佐々木 克之	仙台
副議長	大村 博行	盛岡
副議長	泉 祐樹	秋田
事務長	湯ノ目 勝	仙台
事務次長	昆野 彰夫	盛岡
事務次長	畠山 翔	秋田
幹事	木村 洋	盛岡
幹事	其田 洋輔	盛岡
幹事	下山 陽平	秋田
幹事	佐藤 豪	秋田
幹事	石戸 亨	仙台
幹事	工藤 克貴	仙台

盛岡地本・秋田地本・仙台地本は9月26日、「JRこぶし会館(盛岡地本事務所)」において42名の参加のもと、JR東労組東北協議会結成総会を開催しました。

東北協議会は、各地間の連携・結束の強化をほかり、組合員が安心して働ける職場環境と生活を守るために会社に向き合える組織を展望すること、東北の地からJR東労組の1万人組織を創造することを目的に奮闘していきます。

東北協議会 結成!



9月28日、盛岡地本釣部準備のもと、「第32回JR東労組釣り大会」を青森にて開催しました。久しぶりに宿泊をする形式で開催し、全体での懇親会を行いました。懇親会では、9月に入籍された仲間をみんなで祝うサプライズもありました。

大小サイズ混ざりながらもマイ釣りをみんなで楽しめ、講演会では取り巻く現状を学び、サークルをはじめとする様々な実践で組織強化・拡大していくことを参加者全体で確認しました。

第32回JR東労組釣り大会



1日目は朝から雨が降りしきる中、準備委員による懸命のグラウンド整備のおかげで野球を行うことができました。しかし2日目は早朝からの大雨により残念ながら野球は断念し、屋内での球技で汗を流しました。

また、佐藤中央執行委員長より講演をいただき、参加者全員で野球ができる組織力と仲間意識を再確認し、更なるJR東労組運動強化を進めていくことを確認しました。

第28回 JR東労組 軟式野球大会

9月20日、盛岡地本準備のもと、岩手県雫石町鷺宿運動場にて「第28回JR東労組軟式野球大会」を開催し、昨年を上回る124名が参加し、8チームで白熱した試合を展開しました。



10月3日、大宮地本準備のもと「第23回JR東労組バスケットボール大会」を宇都宮市・ブルックスアリーナ宇都宮にて開催しました。

1日目は、佐藤中央執行委員長の講演会並びに意見交換会と全体交流会を行いました。2日目は、バスケットボールで熱戦が繰り広げられました。4年振りの開催でしたが、4地本から50名の仲間が参加し、笑顔溢れる大会となりました。

来年も開催を予定しています。1人でも多くの仲間の参加で大会をつくり出し、組織強化・拡大に向けて、1人1サークルの取り組みをバスケットボール部からつくり出していきます。

第23回JR東労組 バスケットボール大会



サークル 今後の予定

第23回サッカー大会

開催日 11月13日(月)～14日(火)

場所 つなぎ多目的運動場グラウンド

宿泊 盛岡つなぎ温泉 愛真館

参加費 17,000円

集約日 10月27日(金)

国際鉄道安全会議2023に参加!



10月1日、南アフリカ・ケープタウンで開催された国際鉄道安全会議に参加しました。

JR東労組として、1日目に「安全を前提としたワンマン運転とドライバレス運転を、職場実態に踏まえるようにめざしていくか」を提言し、南アフリカの方から「なかなか南アフリカは、そこまでの技術レベルでもないし、とても考えさせられたプレゼンだった」という意見をいただきました。3日目には「安易な赤字路線の廃止をするのではなく、地域の足を守り、地域に貢献し、みんなに親しまれる鉄道をめざすための提言」をプレゼンしてきました。

会議のまとめでアンミルズ事務局長から、「日本のプレゼンは素晴らしい。この会議があるのは、彼らからもプレゼンされた通り、1990年の日本からの呼びかけによって、国際鉄道安全会議がはじまり、今日の南アフリカの開催となっている。私たちは知恵を出し合ってきた。来年のオーストラリア開催に向けていきたい」と述べられました。

1988年の東中野事故を契機に、鉄道安全について国や立場を超えて話し合う会議として1990年からJR東日本の労使で国際鉄道安全会議を開催してきました。国際鉄道安全会議には労使33ヶ国が結集し、事故II処罰という固定観念が労使双方に存在する中、事故の正しい把握が出来ないばかりか、正しい報告がされないが故に、事故原因を究明し対策を講ずることが出来ない。また誰かが同種事故を起こす。そして、事故を起こせばまた処罰という悪循環の連鎖を断ち切る必要性について議論がなされてきました。その結果として、世界の鉄道の安全対策の柱を「責任追及から原因究明へ」という安全哲学に転換するスタートが切り拓かれました。

JR東労組として、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学の再確立に向けて取り組みを強化していきます。そして、来年のオーストラリアでも労働組合として提言していきたいと考えています。



3日目のプレゼンをする仙台地本・湯ノ目書記長と、通訳をしていたJR総連・武川書記